

# 日本リサーチセンター・NOS自主調査 市販薬についての調査

株式会社 日本リサーチセンター (Member of Gallup International Association)



代表取締役社長 鈴木 稲博

東京都中央区日本橋本町2-7-1 電話:03-6667-3400(代) / FAX:03-6667-3470

(担当:日本リサーチセンター自主調査委員会) <http://www.nrc.co.jp/>

## ■ 日本リサーチセンター(NRC)では、

全国15～79歳男女1,200人を対象に、訪問留置のオムニバス調査(NOS)を、毎月定期的を実施しております。

4月のNRC自主調査のテーマは、「市販薬」です。

## ■ 主な結果の紹介は以下の通りです。

### 1. 1年間で利用した市販薬は・・・

内服薬は「かぜ薬」(51%)が最も多く、外用薬は「ばんそうこう」(56%)が最も多い。

男女別では、男性は「栄養ドリンク」、女性は「ばんそうこう」「虫さされ、あせもなどの塗り薬」「頭痛薬・解熱鎮痛剤」「ビタミン・ミネラル剤、その他サプリメント」「キズ薬、ひび、あかぎれなどの塗り薬」の利用率が高い。

### 2. 1年間で利用した処方薬は・・・

内服薬は「かぜ薬」(28%)が最も多く、外用薬は「目薬」(17%)が最も多い。

### 3. 市販薬を購買する際の意識は・・・

市販薬を選ぶときは、「品質や効き目優先」派が82%で、「安さ優先」派の17%を大きく上回る。年代別にみると、60代以上は「品質や効き目優先」派が多い。

メーカーや銘柄について「違いが大きい」は「違いがあまりない」と拮抗しているが、60代以上では「違いが大きい」が多くなる。

### 4. 市販薬を選ぶ時に参考にする情報源は・・・

市販薬の購入時に参考にする情報源は、「店頭で、店員や薬剤師」(50%)が最も多い。次いで、「店頭で、商品を見て」(45%)、「テレビCM」(33%)と続く。

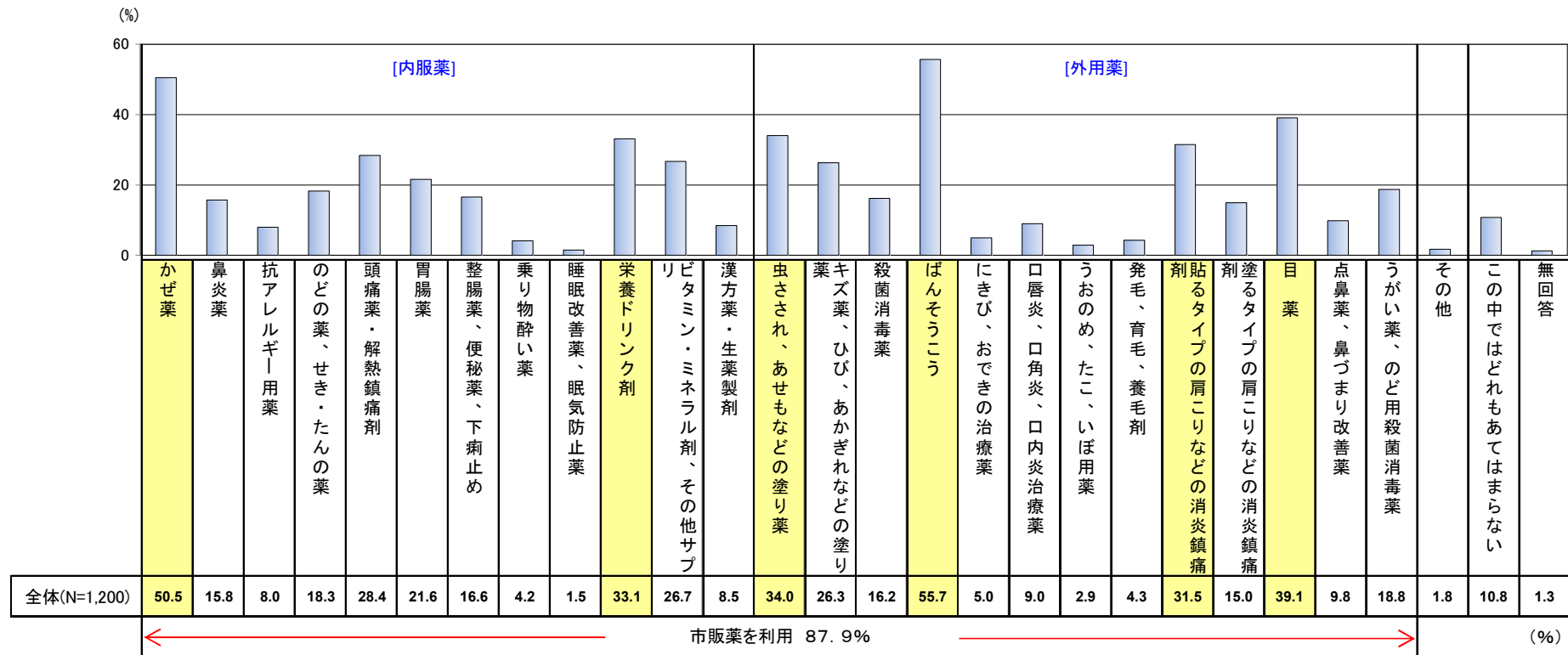
# 目次

- 1年間で利用した市販薬は？ ..... 3
- 1年間で利用した処方薬（医師から処方された薬）は？ ..... 4
- 市販薬の利用で男女差は？ ..... 5
- 市販薬の利用で年齢差は？ <内服薬> ..... 6
- 市販薬の利用で年齢差は？ <外用薬> ..... 7
- かぜ薬は市販薬か処方薬か？ ..... 8
- 貼り薬は市販薬か処方薬か？ ..... 9
- 品質や効き目と価格の優先度はどっち？ ..... 10
- こだわりをもって選ぶか？ ..... 11
- メーカーや銘柄による違いは大きいのか？ ..... 12
- 市販薬について詳しいか？ ..... 13
- 参考にする情報源は？ ..... 14
- 購入時の情報源は年齢で違うか？ ..... 15
- 調査概要 ..... 16

# 1年間で利用した市販薬は？

- この1年間に市販薬を利用した人は約9割と多い。
- 内服薬の利用率をみると、1番多いのは「かぜ薬」で5割。2番目は「栄養ドリンク剤」で、3割を超えている。
- 外用薬で、1番多いのは「ばんそうこう」で5割を超えている。「目薬」「虫さされ、あせもなどの塗り薬」「貼るタイプの肩こりなどの消炎鎮痛剤」は3割以上の利用率である。

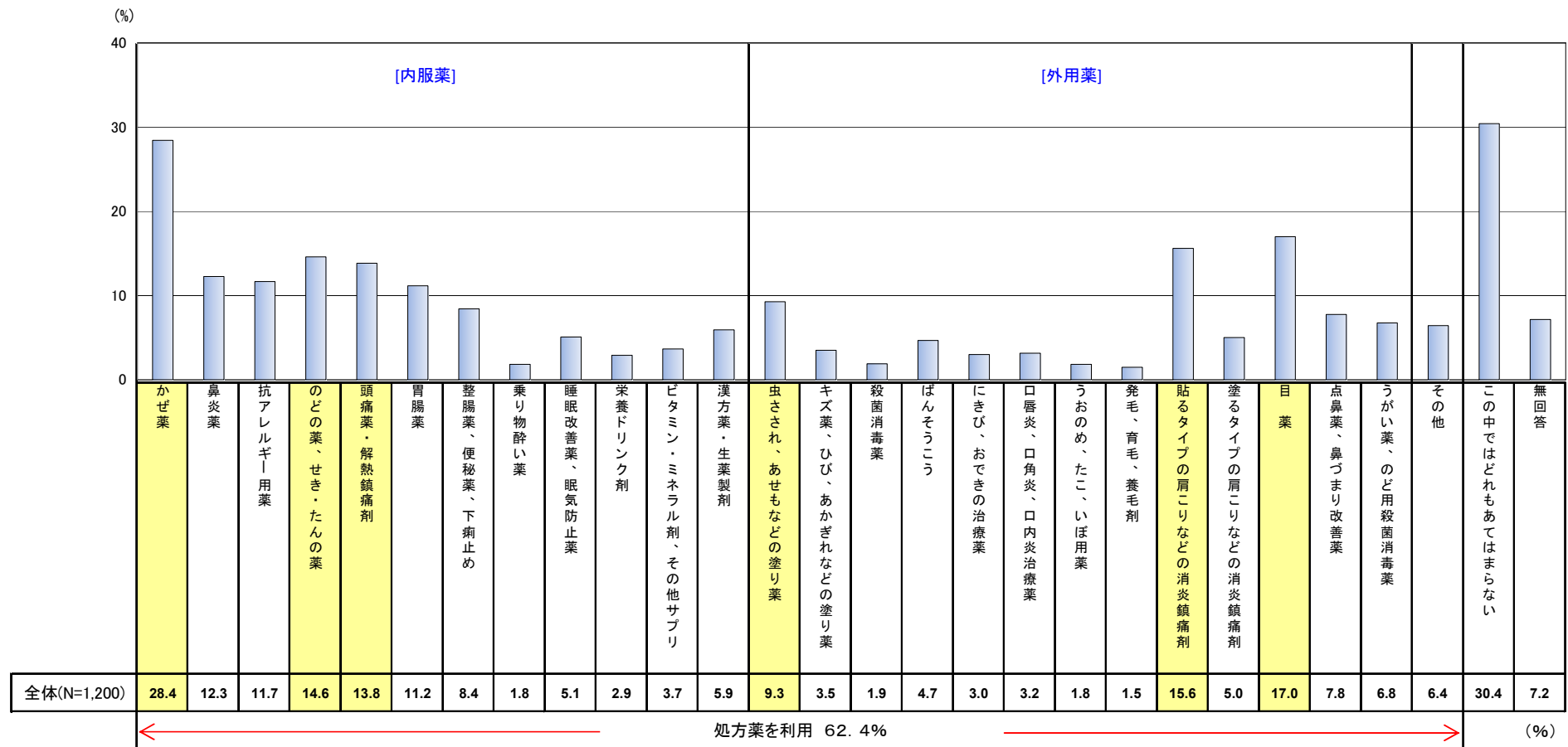
「市販薬」の1年間での利用率（複数回答）



# 1年間で利用した処方薬（医師から処方された薬）は？

- この1年間に処方薬を利用した人は約6割。
- 内服薬は、「かぜ薬」「のどの薬、せき・たんの薬」「頭痛薬・解熱鎮痛剤」が上位3位。
- 外用薬は、「目薬」「貼るタイプの肩こりなどの消炎鎮痛剤」「虫さされ、あせもなどの塗り薬」が上位3位。

「処方薬」の1年間の利用率（複数回答）



# 市販薬の利用で男女差は？

- 「1年間で利用した市販薬」について男女の違いをみてみた。(ヨコ軸を男性、タテ軸を女性とした)
- 対角線より右下に布置されたものは男性の利用が多い市販薬、左上に布置されたものは女性が多い市販薬である。
- 「ばんそうこう」「虫さされ、あせもなどの塗り薬」「頭痛薬・解熱鎮痛剤」「ビタミン・ミネラル剤、その他サプリ」「キズ薬、ひび、あかぎれなどの塗り薬」は、女性の利用が多い。
- 一方、「栄養ドリンク剤」は、男性の利用が多い。

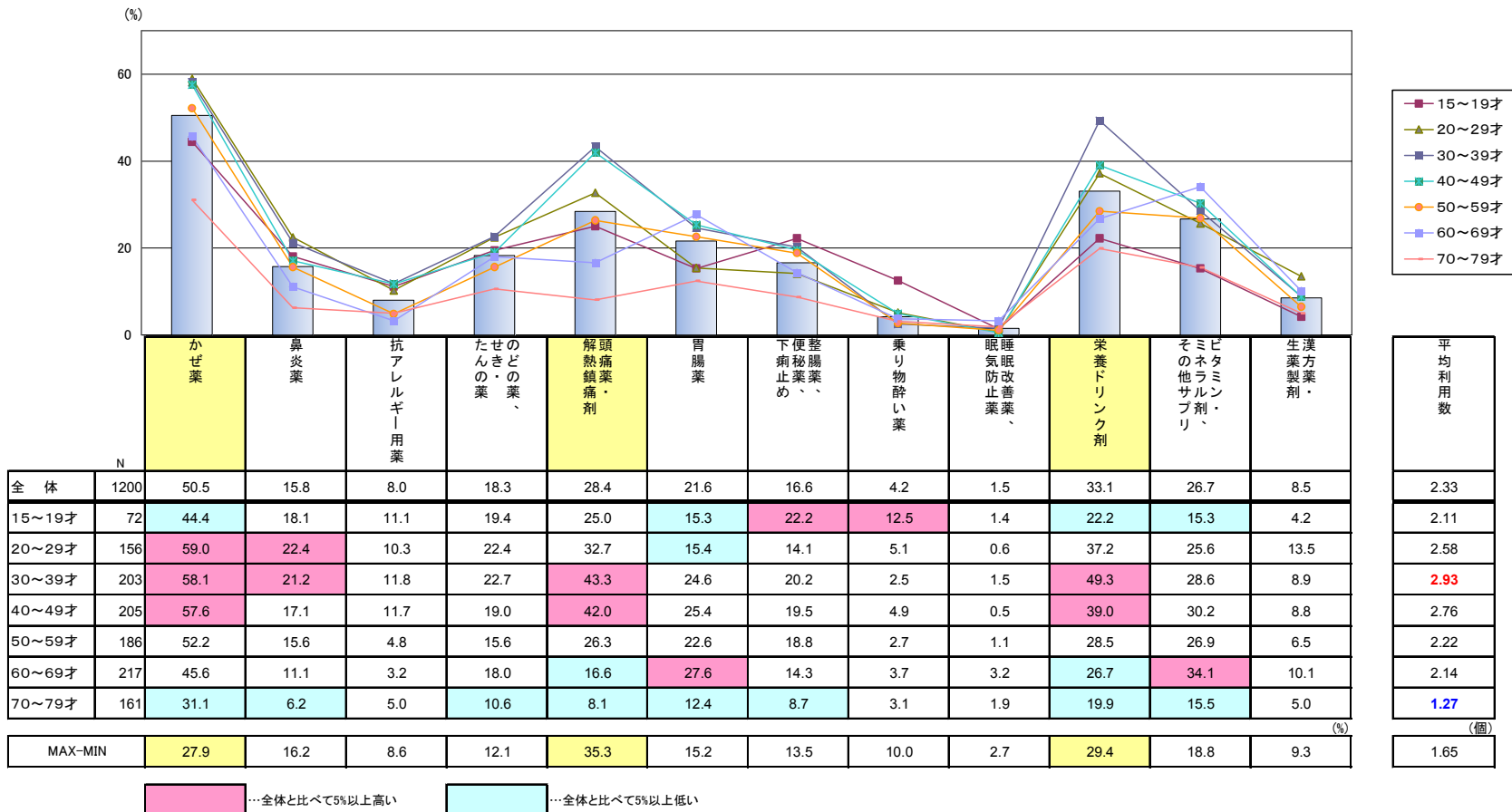
「市販薬」の1年間の利用率(男女別)



# 市販薬の利用で年齢差は？ <内服薬>

- 内服薬について年齢の違いをみると「頭痛薬・解熱鎮痛薬」は、30代が43%と最も多く、70代が8%と最も少ない。その差は35%もある。
- 「栄養ドリンク剤」は、30代が49%と最も多く、70代が20%と最も少なく、その差は29%ある。
- 「かぜ薬」は、20代が59%と最も多く、70代が31%と最も少なく、その差は28%ある。
- 内服薬12項目の平均利用個数は全体で2.3個で、最も多いのは30代の2.9個である。最も少ない70代の1.3個とは2倍以上の差がある。

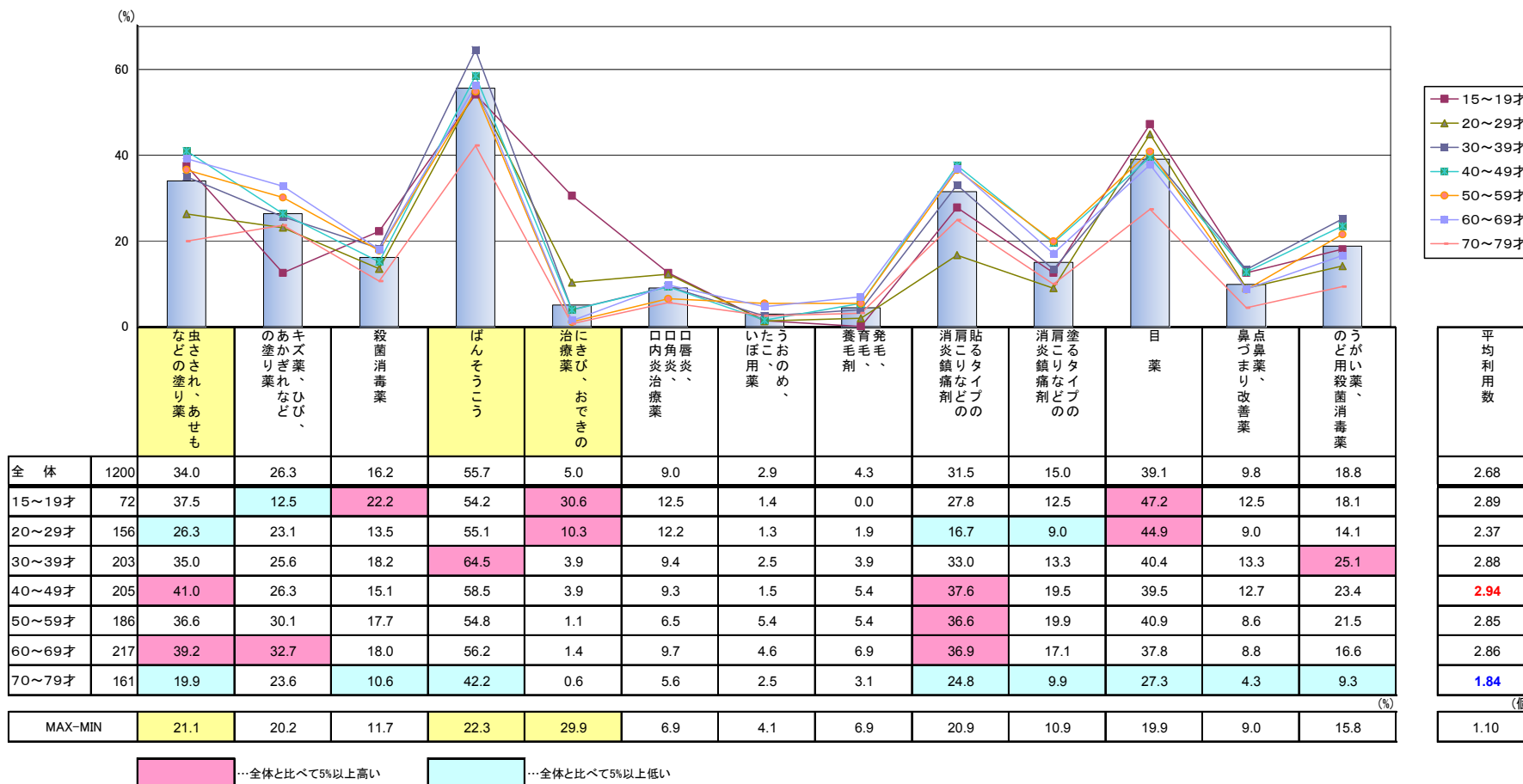
「市販薬」の1年間での利用率 <内服薬> (年齢別)



# 市販薬の利用で年齢差は？ <外用薬>

- 「にきび、おできの治療薬」は、15～19才が31%で最も多い。一方、70代が1%と最も少なく、その差は30%もある。
- 「ばんそうこう」は、30代が最も多く、「虫さされ、あせもなどの塗り薬」は、40代が最も多い。どちらも70代が最も少なく、20%以上の差がある。
- 外用薬13項目の平均利用個数は全体で2.7個で、最も多いのは40代で、最も少ないのは70代である。

「市販薬」の1年間での利用率 <外用薬> (年齢別)

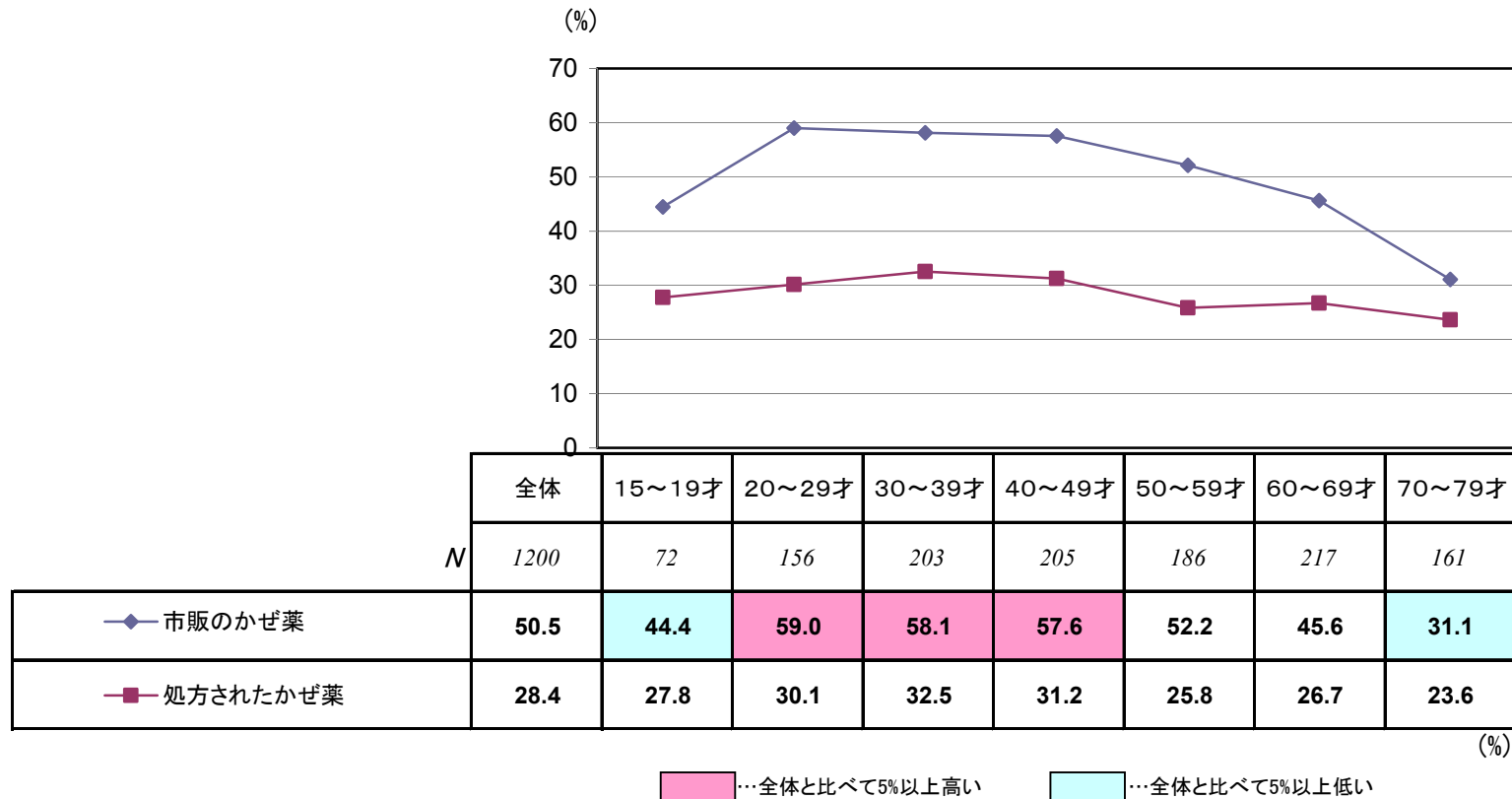




# かぜ薬は市販薬か処方薬か？

- かぜ薬について、市販薬と処方薬の、1年間の利用率を年代別にみてみた。
- 市販の風邪薬は、20代・30代・40代で利用率が高くなり、10代と70代が低い。
- 処方された風邪薬は、年代で大きな変動はない。

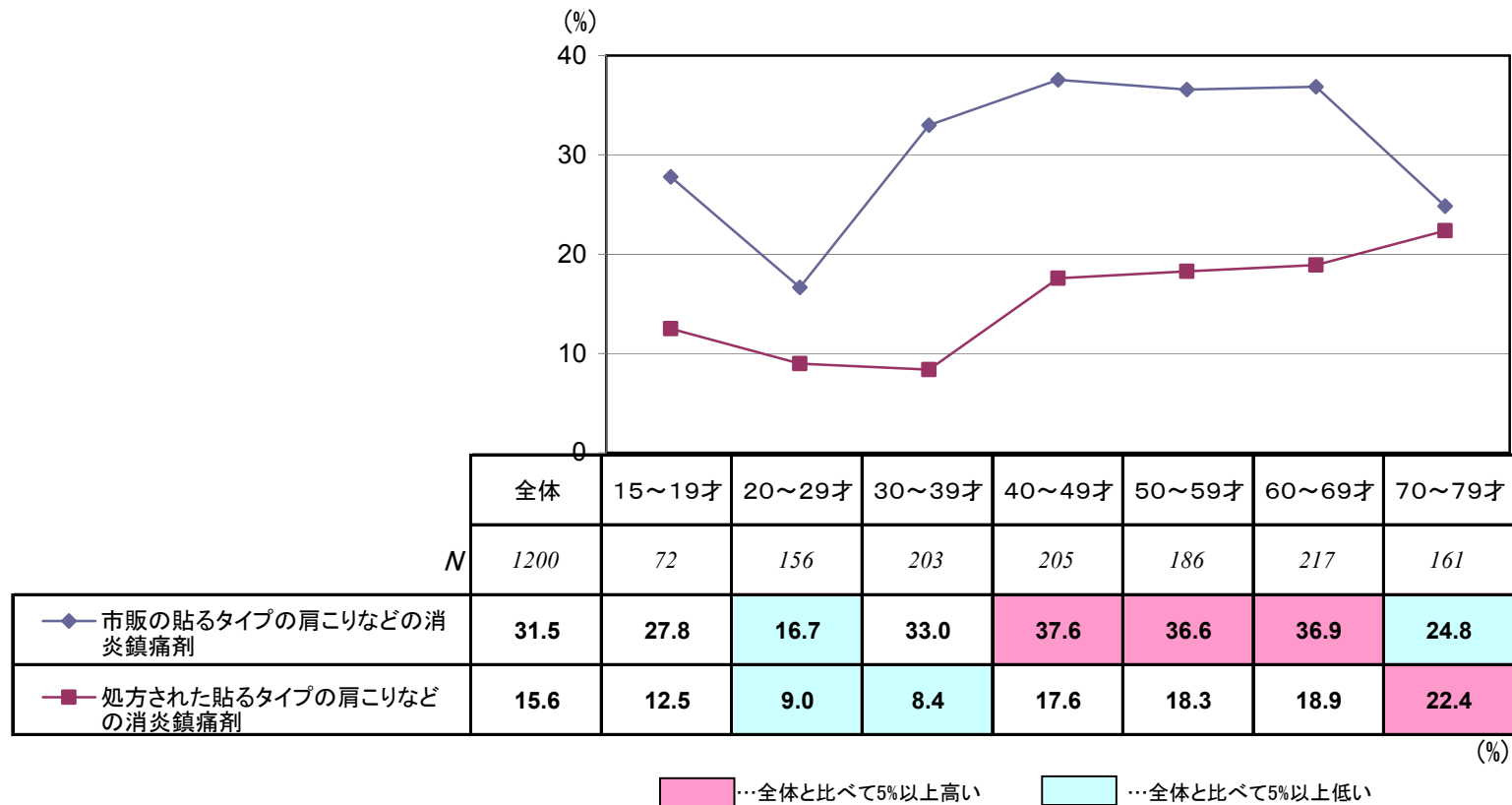
かぜ薬の利用率 市販薬 vs 処方薬 (年齢別)



# 貼り薬は市販薬か処方薬か？

- 貼り薬について、市販薬と処方薬の、1年間の利用率を年代別にみてみた。
- 市販の貼り薬は、40代・50代・60代で利用率が高くなり、20代と70代が低い。
- 処方された貼り薬は、70代が高く、20代と30代で低くなる。

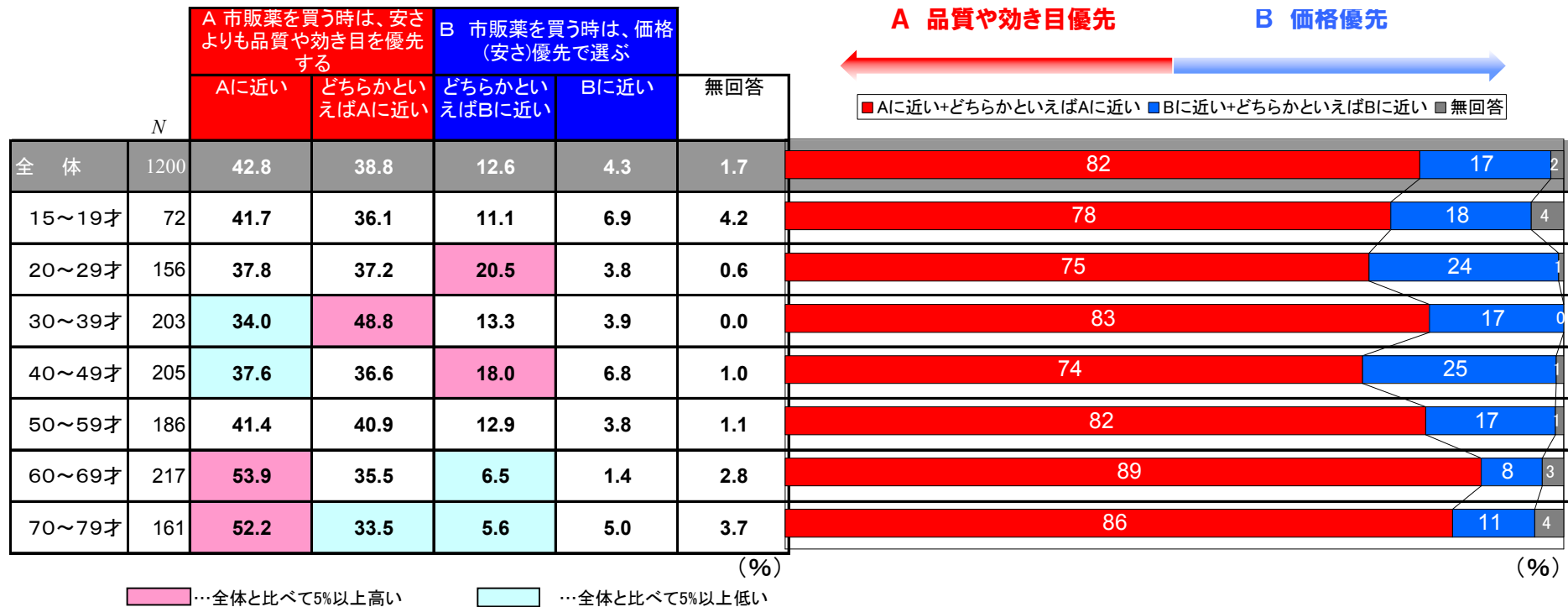
貼り薬の利用率 市販薬 vs 処方薬 (年齢別)



# 品質や効き目と価格の優先度はどっち？

- 市販薬を買うときは、「品質や効き目優先」派が82%で、「安さ優先」派の17%を大きく上回る。
- 年代別にみると、60代以上では「品質や効き目優先」派が多い。

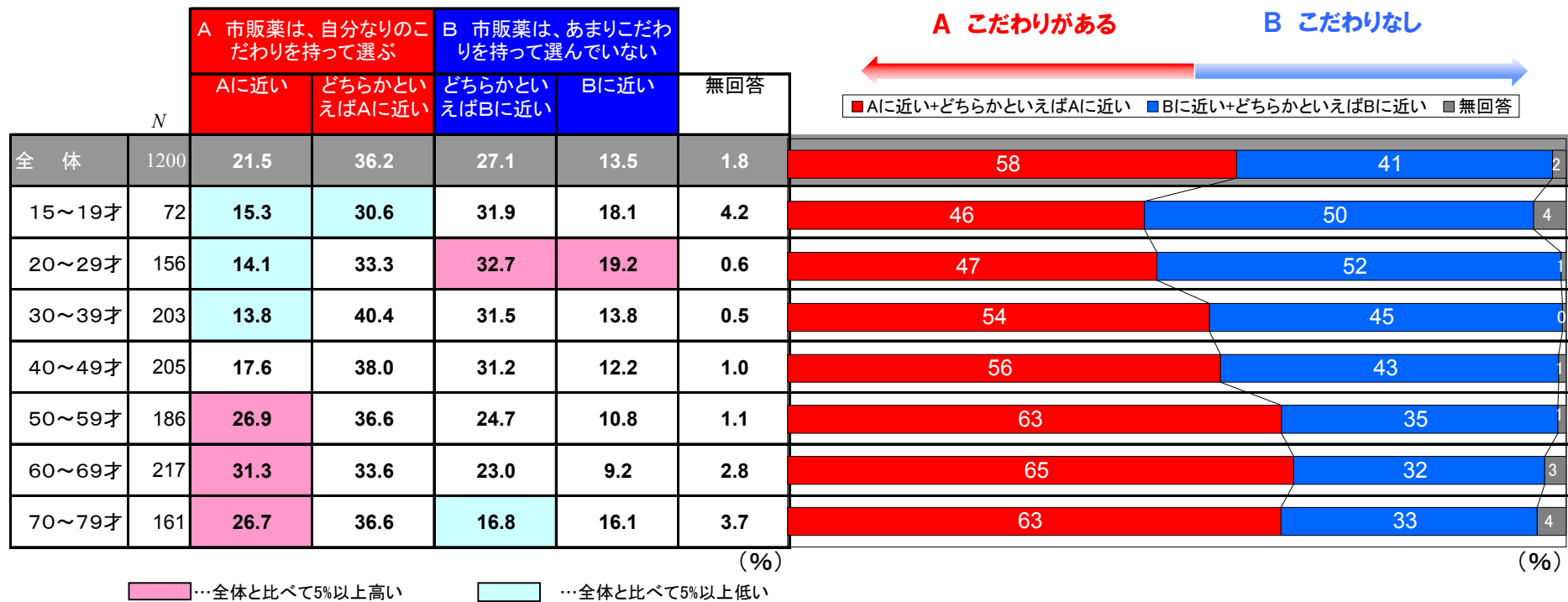
「品質や効き目優先」vs「価格優先」（単一回答）



# こだわりをもって選ぶか？

- 市販薬は、こだわりを持って選ぶかどうかでは、「こだわりがある」派が58%と、「こだわりなし」派の41%を上回る。
- 年代別にみると、50代以上では「こだわりがある」派が多くなる。

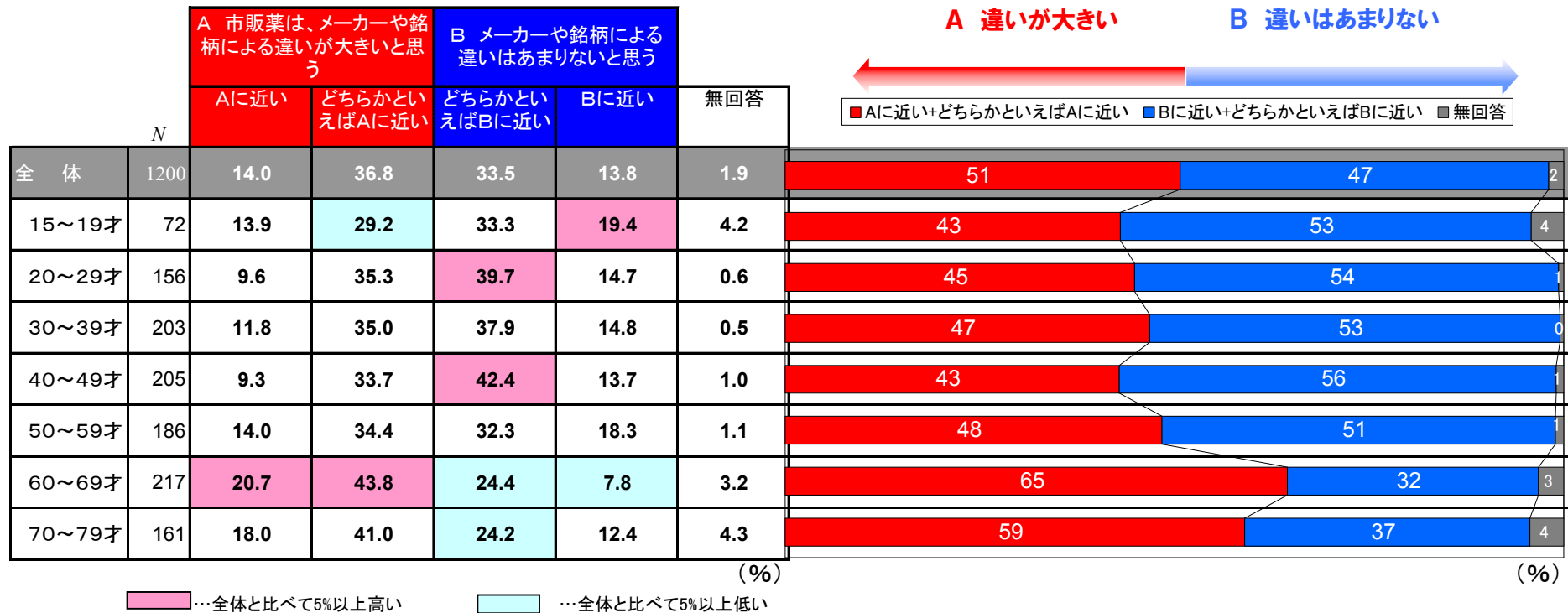
「こだわりがある」vs「こだわりなし」（単一回答）



# メーカーや銘柄による違いは大きい？

- メーカーや銘柄による違いでは、「違いが大きい」派が51%と、「違いはあまりない」派の47%でほぼ同数。
- 年代別にみると、60代以上で「違いが大きい」派が多い。

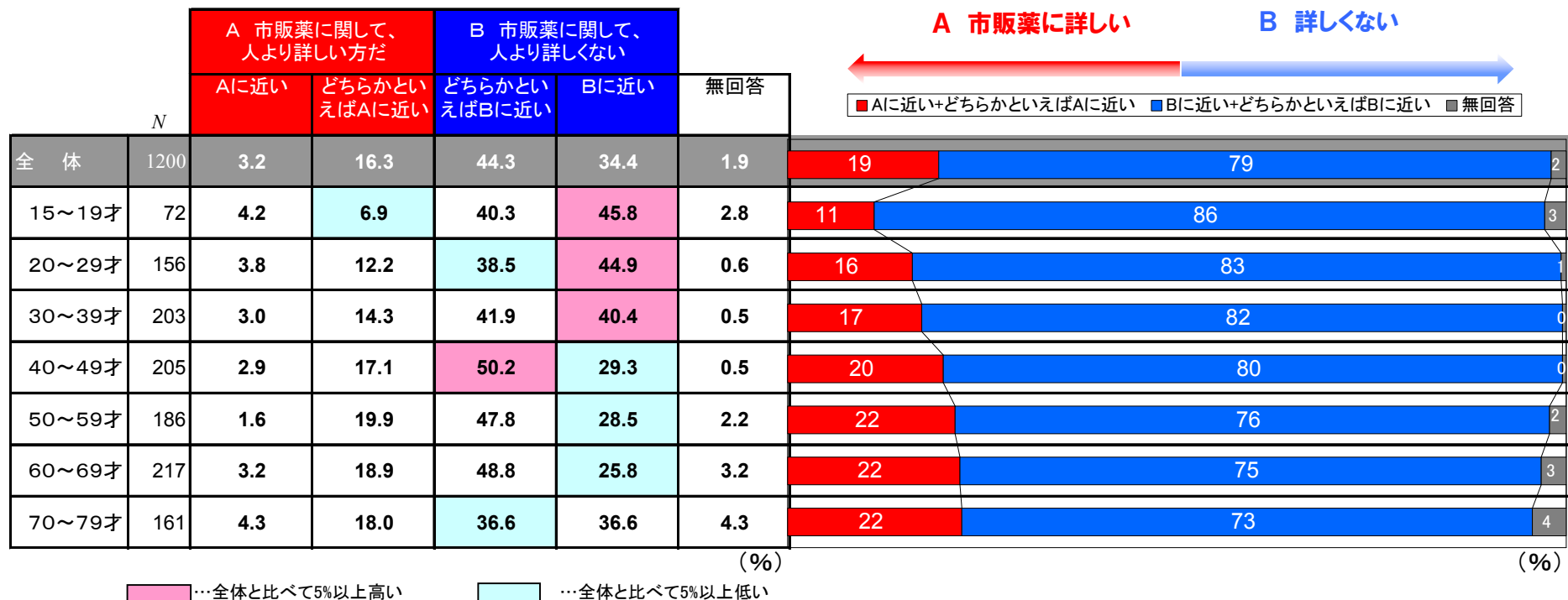
「違いは大きい vs 「違いはあまりない」 (単一回答)



# 市販薬について詳しいか？

- 市販薬に対する知識では、「詳しくない」派が79%と、「詳しい」派の19%を大きく上回る。
- 年代別にみると、15～19歳で「詳しくない」派が86%と多い。

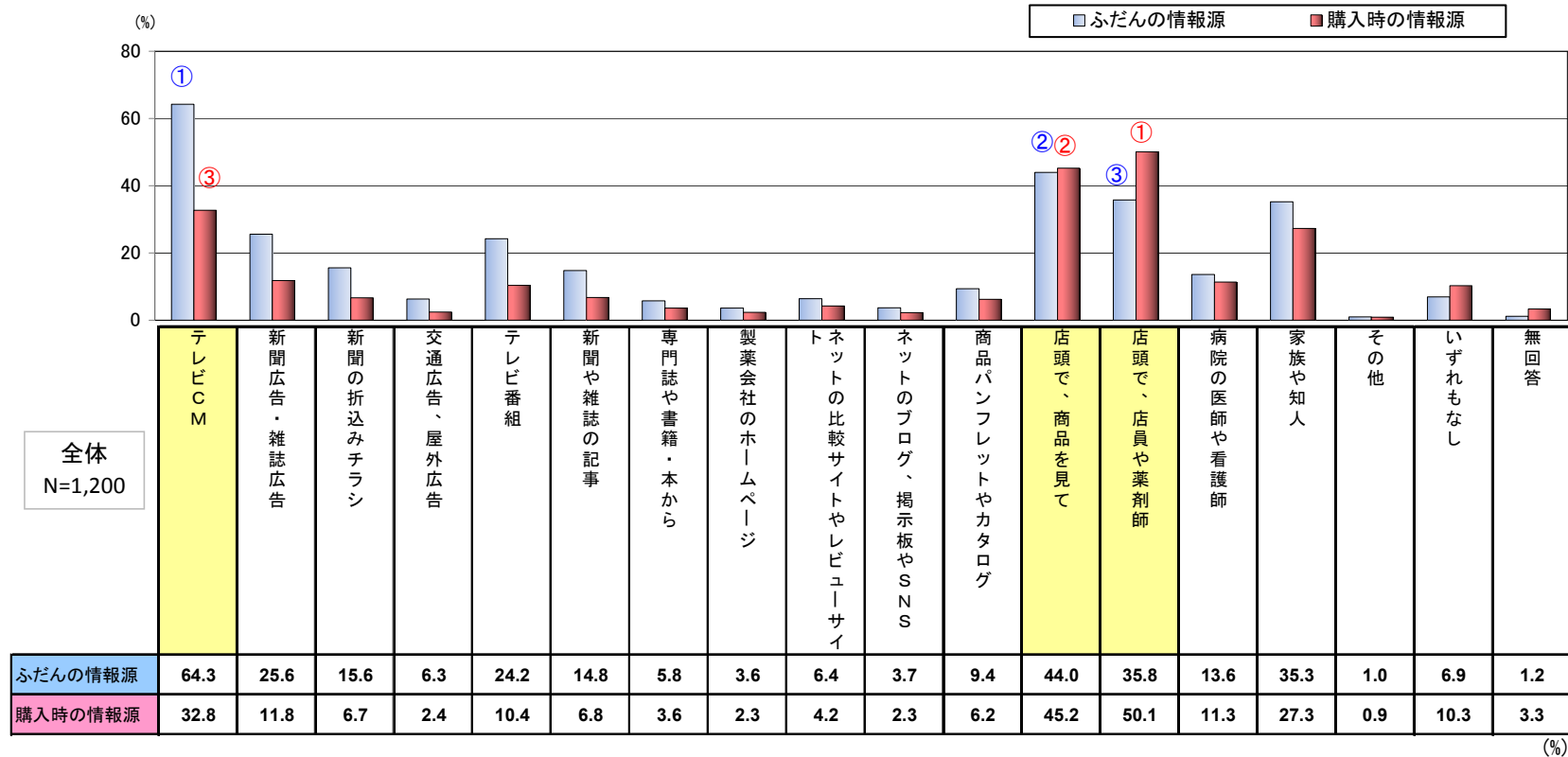
「市販薬に詳しい」vs「詳しくない」（単一回答）



# 参考にする情報源は？

- ふだん参考にする情報源は、「テレビCM」の64%が最も多い。次いで、「店頭で、商品を見て」44%、「店頭で、店員や薬剤師」36%と続く。
- 市販薬の購入時に参考にする情報源は、「店頭で、店員や薬剤師」の50%が最も多い。次いで、「店頭で、商品を見て」45%、「テレビCM」33%と続く。

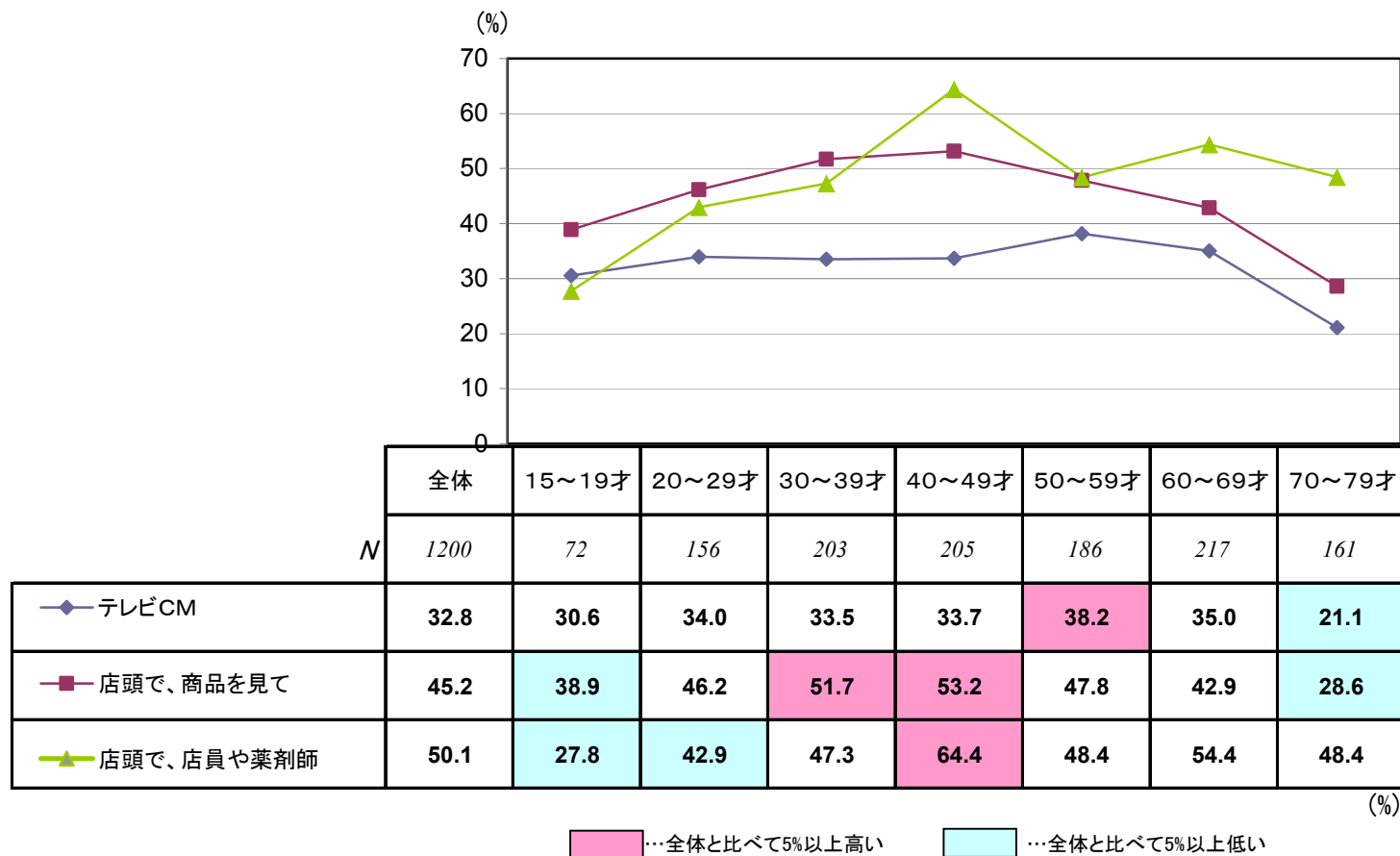
市販薬を選ぶ時に参考にする情報源（複数回答）



# 購入時の情報源は年齢で違うか？

- 市販薬の購入時に参考にする情報源として、上位3位の「テレビCM」「店頭で、商品を見て」「店頭で、店員や薬剤師」を年代別に比較した。
- 20代と30代は「店頭で、商品を見て」>「店頭で、店員や薬剤師」>「テレビCM」。
- 40代から70代は「店頭で、店員や薬剤師」>「店頭で、商品を見て」>「テレビCM」。

市販薬購入時の情報源（年齢別）





# 調査概要

## 調査方法

- NOS(日本リサーチセンター・オムニバス・サーベイによる毎月調査)
- 調査員による個別訪問留置調査

## 調査対象

- 全国の15～79歳の男女個人

## 有効回収数

- 1200人(サンプル) ※エリア・都市規模と性年代構成は、日本の人口構成比に合致するよう割付実施

## 抽出方法

- 毎月200地点を抽出、住宅地図データベースから世帯を抽出し、個人を割当て

## 調査期間

- 2013/4/3 ~ 2013/4/15

### NOS(日本リサーチセンター・オムニバス・サーベイ)について

調査パネルを使ってインターネットで簡単に情報収集できる時代になりましたが、NOSでは、40年以上にわたって、

①調査員を使った訪問留置、②パネルモニターではない毎回抽出方式で調査を継続しており、代表性のある信頼の高いデータを提供しております。

NOSは、毎月1回定期的に実施する乗り合い形式(オムニバス)の調査です。

毎回ランダムに決められた200地点にて、対象となる方に調査員が協力を依頼してアンケートを回収します。

性年代構成を日本の人口構成比に合わせているため、全体結果は日本を代表する意見としてそのままご覧になることができます。

インターネット調査では、回収が難しい60代以上の対象者やインターネットを使っていない人の実態や意識を分析するのにも有用な手法と言えます。

## 《 引用・転載時のクレジット表記のお願い 》

本リリースの引用・転載の際は、必ずクレジットを明記していただきますようお願い申し上げます。  
調査結果のグラフ・表をご利用の場合は、データ部分に当社クレジットの掲載をお願い致します。